

令和3年度使用中学校用教科用図書

選 定 理 由

教科用図書西諸県採択地区協議会

選定理由【国語科】

国語科においては、東京書籍、三省堂、教育出版、光村図書出版の4者について検討を加えた。

各者とも、学習指導要領「中学校国語」の目標である「言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを目指す」ことや、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて編集がなされている。

本地区の生徒の実態は、よさとして、音読の学習や漢字・語句のスキルの学習に進んで取り組んだり、学び合いの学習や教育機器を用いた授業に、生徒同士が協力し合い意欲的に取り組んだりすることができる。

一方、課題として、基本的な語彙力の不足から問題の意図を十分に捉えきれていなかったり、文章読解のスピードが遅かったりする傾向がある。「必要な情報を選択し、自分の考えを条件に従って書きまとめること」、「文章全体の構成や論理の展開を捉えること、表現の特徴を捉え、その工夫や効果を説明すること」、古典教材を苦手と感じている生徒が多いなどの報告が専門委員よりあった。

本地区の生徒の課題を解決する観点から研究した結果、生徒の主体的な学びを促す上で、付属の資料を見たり音声を実際に聞いたりすることは、学習効果を高めると共に、先生方の利便性についても良く、そのようなQRコードの工夫が、光村図書出版の教科用図書には多く見られた。

本採択地区協議会においては、上述のような専門委員会からの報告を受け、協議がなされ、光村図書出版の教科用図書が適切であると選定した。

なお、光村図書出版の教科用図書の特徴は次のような点である。

- (1) 国語科の目標を達成するために、単元ごとに「知識・技能」を育てる教材と「思考・判断・表現」を育てる教材の両方を配置するなど、国語科で習得すべき学習内容について繰り返し学べるような構成の工夫が見られる。

また、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」など各領域が特定の時期に偏ることがないように、バランスよく学習できるような配列の工夫が見られる。

- (2) 古典学習では、美しい韻律を味わえるようにQRコードで朗読音声を聞けるようにするなど、生きて働く「知識・技能」を習得できるような工夫が見られ、古典学習を苦手と感じている生徒が多い地域の実態に対応している。

- (3) 生徒が主体的に学ぶことができるように、各教材の後に「学習」を配置し、学びを深めるための学び方や学習の流れを示して、見通しをもって学習できるようにするなど、学習効果や利便性を高める工夫が見られる。

また、「学習の窓」において「学習で用いる言葉」を説明し、生徒が学習用語を使用語彙として蓄積できるようにするなど、生徒にとってわかりやすい工夫が見られる。

選定理由【国語科（書写）】

国語科においては、東京書籍、三省堂、教育出版、光村図書出版の4者について検討を加えた。

各者とも、学習指導要領「中学校国語」の書写の内容の取扱いに示してある「文字を正しく整えて速く書くことができるようにするとともに、書写の能力を学習や生活に役立てる態度を育てるよう配慮すること」や、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて編集がなされている。

本地区の生徒の実態は、よさとして、毛筆・硬筆ともに意欲的かつ真面目に取り組み、正しい姿勢で文字を美しく正確に書くこと、筆使いの技能や文字のバランス（字形）をとることに、高い意識をもって取り組むことができる。

一方、課題として、行書での「点画の省略」や「筆順の変化」などが十分に定着していない傾向がある。また、書写の学習が普段の学習や生活において活かされておらず、文字に雑な面が見られ、正しい筆順で書いている生徒が少なくなっているなどの報告が専門委員よりあった。

本地区の生徒の課題を解決する観点から研究した結果、生徒の主体的な学びを促す上で、硬筆教材を別冊にしたり、利便性があり学習効果を高めたりするQRコードの工夫が、光村図書出版の教科用図書には多く見られた。

本採択地区協議会においては、上述のような専門委員会からの報告を受け、協議がなされ、光村図書出版の教科用図書が適切であると選定した。

なお、光村図書出版の教科用図書の特徴は次のような点である。

- (1) 単元の構成に関しては、学習の流れを「考えよう」「確かめよう」「生かそう」の3つの段階に分けて学習を進めることで、学習の目標に到達させるような工夫が見られる。

また、単元の配列については、学習したことを基に多様な学習活動を行う「文字を使い分ける」「日常に役立つ書式」を配置することで、学習内容を日常生活に生かす力を育成するような工夫が見られる。

- (2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、「学習の窓」を用いて単元のポイントを理解させたり、毛筆の学習を硬筆課題につなげたりする工夫が見られ、行書の知識が定着していないという地域の実態に対応している。

- (3) 硬筆教材を別冊にしたり、QRコードを毛筆教材と同じページに掲載したりすることで、個に応じた学習を進められるようにしている。

また、毛筆教材の手本の右側に穂先の動きを示したり、文字の中心に印をつけることで配置を意識させたりするなど、学習効果や使用上の利便性を高めるとともに生徒にとって分かりやすい工夫が見られる。

選定理由【社会科（地理的分野）】

社会科の地理的分野においては、東京書籍、教育出版、帝国書院、日本文教出版の4者について検討を加えた。

各者とも、学習指導要領「中学校社会」の〔地理的分野〕の目標である「社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す」ことや、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて編集がなされている。

本地区の生徒の実態は、よさとして、素直で真面目な生徒が多く、授業に一生懸命に取り組む。地理的分野における視覚的な教材や動画などを用いると、興味・関心が高まる生徒が多い。

一方、課題として、学力の二極化が見られ、地理的諸事象を多面的・多角的に考えることが苦手な生徒が多いなどの報告が専門委員よりあった。

本地区の生徒の課題を解決する観点から研究した結果、地理的分野における探究的な学習を促す上で、問いの構造化がなされ、様々な思考ツールを用いて考察させながら、課題解決に向けて地理的な見方・考え方を働かせて、思考力・判断力・表現力等の定着を図ろうとしている工夫が、東京書籍の教科用図書には多く見られた。

本採択地区協議会においては、上述のような専門委員会からの報告を受け、協議がなされ、東京書籍の教科用図書が適切であると選定した。

なお、東京書籍の教科用図書の特徴は次のような点である。

- (1) 社会科地理的分野の目標を達成するために、編（章）の構成は課題をつかむ、課題を追究する、課題を解決するという流れで構造化されている。

また、見開きで学習課題を設定し「地理にアクセス」コーナーなどで追究し、最後に、学習内容の定着を図る「チェック&トライ」コーナーに取り組めるような構成・配列の工夫が見られる。

- (2) 生きて働く「知識・技能」を習得するために、地理の学習に必要な技能を学習する「スキル・アップ」や、学習内容を確認する「基礎・基本のまとめ」を設ける工夫が見られる。

また、未知の状況に対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために「思考ツール」を活用したり、キャラクターとの会話を通して「探究課題」を解決したりできる工夫が見られる。

さらに、多面的・多角的に考察する力を育成するために複数の学習課題を提示した「みんなでチャレンジ」や、地元と他地域の課題を比較する「地域のあり方」を設ける工夫が見られる。

- (3) 全ての生徒が読みやすく分かりやすくするために、ユニバーサルデザインの視点から、鮮やかで明るい色を使うなどの工夫が見られる。

また、他分野や他教科との関連を示す「関連マーク」で学習内容の関連性・系統性を意識したり、インターネットを活用した学習を行ったりできるような工夫が見られる。

選定理由【社会科（歴史的分野）】

社会科の歴史的分野においては、東京書籍、教育出版、帝国書院、山川出版社、日本文教出版、育鵬社の6者について検討を加えた。

各者とも、学習指導要領「中学校社会」の〔歴史的分野〕の目標である「社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す」ことや、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて編集がなされている。

本地区の生徒の実態は、よさとして、歴史的な人物や主な出来事に関して興味・関心をもち、各時代の大まかな特色を理解している生徒が多い。また、視覚的な教材を用いると、意欲的に学習に取り組む生徒が多い。

一方、課題として、諸資料を基に歴史的な事象間の因果関係を考察することや、各時代の大まかな特色を説明することが苦手な生徒が多いなどの報告が専門委員よりあった。

本地区の生徒の課題を解決する観点から研究した結果、歴史的分野における「主体的・対話的で深い学び」の実現を促す上で、様々な図版資料を用いて考察させながら、現代的な諸課題の解決に主体的に取り組み、思考力・判断力・表現力等を高めることで、「学びを人生や社会に活かそうとする力」につなごうとしている工夫が、東京書籍の教科用図書には多く見られた。

本採択地区協議会においては、上述のような専門委員会からの報告を受け、協議がなされ、東京書籍の教科用図書が適切であると選定した。

なお、東京書籍の教科用図書の特徴は次のような点である。

- (1) 社会科歴史的分野の目標を達成するために、章の構成は、単元を貫く課題をつかむ、課題を追究する、課題を解決するという流れで構造化されている。

また、見開きで学習課題が設定され、「歴史にアクセス」コーナーなどで追究し、最後に、学習内容の定着を図る「チェック&トライ」に取り組める構成・配列の工夫が見られる。

- (2) 生きて働く「知識・技能」を習得するために、学習したことを確認できる「基礎・基本のまとめ」や、歴史の学習に必要な技能を身に付ける「スキル・アップ」を設けるなどの工夫が見られる。

また、未知の状況に対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために「思考ツール」を活用してまとめたり、コラム「もっと歴史」で思考を深めたりできる工夫が見られる。

さらに、歴史的な事象間の因果関係を、諸資料を基に考察したり、各時代の特色を説明したりする力を育成するために、単元を貫く課題を設定したり「+プラス」で複数の視点で考えたりすることができる工夫が見られる。

- (3) 全ての生徒が学習しやすくするために、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、二次元バーコードを読み取り、デジタル資料を活用できる工夫が見られる。

また、ページ下の「チェック&トライ」で学習内容を振り返ったあとに、数ページ先の「探究のステップ」のページに取り組めるなどの工夫が見られる。

選定理由【社会科（公民的分野）】

社会科の歴史的分野においては、東京書籍、教育出版、帝国書院、日本文教出版、自由社、育鵬社の6者について検討を加えた。

各者とも、学習指導要領「中学校社会」の〔公民的分野〕の目標である「現代社会の見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す」ことや、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて編集がなされている。

本地区の生徒の実態は、よさとして、自分たちが住む地域社会の様子について関心が高く、グループワークなどの対話的な学習を通して、課題解決に取り組んだり、示された学習課題の実証に向けて丁寧に取り組んだりすることができる。

一方、課題として、新たに獲得した知識・技能をもとに、社会的な見方・考え方を深めることや、様々な課題に気付いて、より良い解決の仕方に結びつけていくことが不十分であるなどの報告が専門委員よりあった。

本地区の生徒の課題を解決する観点から研究した結果、公民的分野における探究的な学習を促す上で、問いの構造化がなされ、様々な思考ツールを用いて考察させながら、社会に出ても活用できるスキルを身に付けさせたり、主権者として主体的に社会に参画する態度を育てようとしていたりしている工夫が、東京書籍の教科用図書には多く見られた。

本採択地区協議会においては、上述のような専門委員会からの報告を受け、協議がなされ、東京書籍の教科用図書が適切であると選定した。

なお、東京書籍の教科用図書の特徴は次のような点である。

(1) 社会科公民的分野の目標を達成するために、章の構成は、課題をつかむ、課題を追究する、課題を解決するという流れで構造化されている。

また、見開きで学習課題が設定され、「みんなでチャレンジ」や「チェック＆トライ」コーナーで学習内容の追究、定着に取り組めるような構成・配列の工夫が見られる。

(2) 生きて働く「知識・技能」を習得するために、「18歳へのステップ」コーナーを設け、主権者として社会に参画する態度を養う工夫が見られる。

また、未知の状況に対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、章末で「マトリックス」や「ツールミン図式」等を活用し、自分の考えをまとめるような工夫が見られる。

さらに、現代社会の様々な課題に気づき、より良い解決の仕方へと結びつけていくために、「見方・考え方」などのコーナーを設け、学習内容を深められる工夫が見られる。

(3) 全ての生徒が学習しやすくするために、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、資料に番号を付けて、本文と関連付ける工夫が見られる。

また、他分野や他教科との関連を「関連マーク」で表示し、学習の関連性を意識したり、「二次元コード」を読み取り、インターネットを活用したりできるような工夫が見られる。

選定理由【社会科（地図）】

社会科の地図においては、東京書籍と帝国書院の2者について検討を加えた。

各者とも、学習指導要領「中学校社会」の目標である「社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す」ことや、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて編集がなされている。

本地区の生徒の実態は、よさとして、素直で純粋な生徒が多く、地図を活用した作業的学習への指導が行き届きやすい。また、地図を活用した課題に対して、他の人と協同して解決しようとする姿勢が見られる。

一方、課題として、学力の二極化が見られ、実際の生活で地図を使って調べる経験が少ないため、地図を使って課題を解決する力や理解したことを生活に活かす力が身に付いていないなどの報告が専門委員よりあった。

本地区の生徒の課題を解決する観点から研究した結果、読図や比較したことを説明し表現する技能を高める活動がしやすく、地図が大きく広範囲に表示されている工夫が、帝国書院の教科用図書には多く見られた。

本採択地区協議会においては、上述のような専門委員会からの報告を受け、協議がなされ、帝国書院の教科用図書が適切であると選定した。

なお、帝国書院の教科用図書の特徴は次のような点である。

- (1) 社会科の目標を達成するために、巻頭では地図帳の構成や方位、地図記号、縮尺、さくいんの使い方など、地図帳の基本的な見方・使い方を示している。
また、地理的分野の学習にあわせて、世界は州別に、日本は地方ごとに構成されており、地域の特色が適切に理解できる資料も多数掲載されるなどの構成・配列の工夫が見られる。
- (2) 生きて働く「知識・技能」を習得するために、地形図の見方を身に付けたり、日本と世界の位置関係が比較できるページを掲載したりするなどの工夫が見られる。
また、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するためにSDGsの観点に基づいた資料や縮尺が統一した資料図を掲載するなどの工夫が見られる。さらに日本の諸地域の防災マップを多く掲載し、理解したことを生活に活かすための工夫が見られる。
- (3) 全ての生徒が学習しやすくするために、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、手話による地名の表現を掲載するなどの工夫が見られる。
また、地図帳の大判化（A4判）により、地域全体を見やすくし特色を捉えやすくしたり、修学旅行や校外学習等でそのまま活用できたりするような工夫が見られる。

選定理由【数学科】

数学科においては、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、新興出版社啓林館、数研出版、日本文教出版の7者について検討を加えた。

各者とも、学習指導要領「中学校数学」の目標である「数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することを目指す」ことや、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて編集がなされている。

本地区の生徒の実態は、よさとして、素直でまじめで、授業に意欲的に取り組む。学び合いに積極的な生徒が多く、ICT環境が整備されていることもあり、ICTを活用した授業に慣れている。

一方、課題として、競争意識や向上心に乏しい生徒が見られ、身に付けている知識・技能を活用する力や、自ら課題を見つけ、それを解決していこうとすることに課題が見られるなどの報告が専門委員よりあった。

本地区の生徒の課題を解決する観点から研究した結果、興味・関心をもって主体的に問題を見い出して、その問題を解決し、さらに広げ深めさせることができるような工夫が、新興出版社啓林館の教科用図書には多く見られた。

本採択地区協議会においては、上述のような専門委員会からの報告を受け、協議がなされ、新興出版社啓林館の教科用図書が適切であると選定した。

なお、新興出版社啓林館の教科用図書の特徴は次のような点である。

- (1) 数学科の目標を達成するために、内容を精選した章末問題「学びをたしかめよう」や個に応じて活用する「もっと練習しよう」等を設定し、学習内容の習熟・定着を図る工夫がされている。
また、数学を学ぶ意義や有用性を実感できる題材である各節の導入「学習のとびら」を設定し、生徒が興味・関心をもって主体的に学習に取り組めようにするなどの、構成・配列の工夫が見られる。
- (2) 数学的な見方・考え方を働かせるために、適所に「？」を配置して、問題を広げたり深めたりする視点を示すことで、自ら問題を見い出す力を養えるようにするなど、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫が見られる。
また、地域の実態に応じ、章の最後に「利用」の内容が設定され、問題を見い出して、その問題を解決し、さらに広げ深めさせることができるような工夫が見られる。
- (3) 学習効果や使用上の利便性を図るため、裏表紙の縦開きから始まる「自分から学ぼう編」を設定し、必修の部分と自分の興味に応じて取り組んでよい部分を明確にするとともに、生徒にとって分かりやすくするため、QRコードを掲載し、学習内容に関連した動画や詳しい解説を閲覧できるような工夫が見られる。

選定理由【理科】

理科においては、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、新興出版社啓林館の5者について検討を加えた。

各者とも、学習指導要領「中学校理科」の目標である「自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す」ことや、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて編集がなされている。

本地区の生徒の実態は、よさとして、素直で真面目な学習態度で、グループでの実験や観察、話し合い活動に積極的に協力して取り組むことができる。また、考える時間を確保することにより、自分の意見をしっかりともち、根拠を示しながら表現することができる生徒もいる。

一方、課題として、豊かな自然環境に恵まれた中で生活しているが、自然について興味・関心をもつ生徒が少なく、手立てを講じないと学習内容の定着が難しい生徒がいる。また、実験結果等を基に分析・解釈して、考察したことを分かりやすく表現したり、自ら課題を見つけて発展的な学習に取り組もうとしたりすることに課題が見られるなどの報告が専門委員よりあった。

本地区の生徒の課題を解決する観点から研究した結果、興味・関心を喚起する本県の資料や、基礎・基本の学習内容の定着を助けるようなデジタル教材、安全に実験や観察ができるような工夫が、新興出版社啓林館の教科用図書には多く見られた。

本採択地区協議会においては、上述のような専門委員会からの報告を受け、協議がなされ、新興出版社啓林館の教科用図書が適切であると選定した。

なお、新興出版社啓林館の教科用図書の特徴は次のような点である。

- (1) 理科の目標を達成するために、単元の導入では、「学ぶ前にトライ！」で身のまわりの疑問について考えさせることで、生徒に単元の見通しをもたせるとともに、課題の把握から解決までの探究の流れが1つの流れとして、図や写真とともに視覚的に分かるように示されており、生徒が探究を意識して取り組めるような構成・配列等の工夫が見られる。
- (2) 未知への状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するため、「探Q実験・実習」を設け、巻末冊子の「探Qシート」を活用することで、観察・実験の計画を生徒自らが立てられるようにして、結果を整理し、分析・解釈できるようにするなど、生徒の考察する力を高める工夫が見られる。
- (3) 学習効果や使用上の利便性を高めるために、単元扉や章扉に大きな写真や図を配置したり、動画につながるQRコードを掲載したりして、生徒の学習内容への興味・関心や理解を高め、新たな気付きや疑問などをもちやすくするなどの工夫が見られる。

選定理由【音楽科（一般）】

音楽科の一般においては、教育出版と教育芸術社の2者について検討を加えた。

各者とも、学習指導要領「中学校音楽」の目標である「表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す」ことや、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて編集がなされている。

本地区の生徒の実態は、よさとして、音楽に対する興味・関心が高く、意欲的に歌ったり、音楽をつくったり、聴いたりする。校内外における発表の機会を楽しみにしている生徒が多く、歌唱や演奏における技能について、向上心もある。

一方、課題として、小学校における音楽専科職員が少なく、各学級担任による音楽授業が実施されているため、系統的・段階的な知識・技能を十分身に付けることができていない生徒が多く、個人差が大きいなどの報告が専門委員よりあった。

本地区の生徒の課題を解決する観点から研究した結果、系統的・段階的な指導ができる生徒が各時間で学ぶ内容が分かりやすく示されていて、教科書に書き込みやすい工夫が教育出版の教科用図書には多く見られた。

本採択地区協議会においては、上述のような専門委員会からの報告を受け、協議がなされ、教育出版の教科用図書が適切であると選定した。

なお、教育出版の教科用図書の特徴は次のような点である。

- (1) 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、全学年に、領域・分野ごとに構成された「学びのユニット」が示され学習のねらいに到達するための工夫が見られる。また、全ての教材に〔共通事項〕にある「音楽を形づくっている要素」を明記した学びの手がかりとなるヒントや、学びを深めるための曲や活動が示され、系統的で、主体的な学びが展開できるような構成・配列の工夫が見られる。
- (2) 生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図るために、全学年に「まなびリンク」「比べてみよう」「深めてみよう」が掲載され、学習の進め方が分かりやすく示されている。また、キャラクターの吹き出しに具体的な学習の進め方を載せたり、学習内容の後半にワークシートを設けたりして、「知識・技能」の習得や「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫が見られる。

本地区生徒の課題である、音楽に対する正しい知識・技能を身に付けさせるための手立てとして、巻末ページに「楽典」として音楽用語などが見開きで示されており分かりやすい紙面構成となっている。また、鑑賞の内容においては、めあてや作曲された年代が縦見出しで見やすく表示されたり、自分やみんなで考えたことを書き込めたりすることで、学習の内容がつかみやすくなるような工夫が見られる。
- (3) 学習効果や使用上の利便性を高めるために、全学年に「まなびリンク」としてQRコードが掲載されており、範唱の音源や雅楽師などの範奏の視聴等ができるように工夫されている。

選定理由【音楽科（器楽）】

音楽科の器楽においては、教育出版と教育芸術社の2者について検討を加えた。

各者とも、学習指導要領「中学校音楽」の目標である「表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す」ことや、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて編集がなされている。

本地区の生徒の実態は、よさとして、器楽演奏に対する興味・関心が高く、楽器を演奏することに対し意欲的に取り組む。リコーダーや篠笛、箏などの和楽器に触れる機会があり、楽器の演奏を楽しみにしている生徒が多く、向上心もある。

一方、課題として、小学校における音楽専科職員が少なく、各学級担任による音楽授業が実施されているため、系統的・段階的な知識・技能を十分身に付けることができていない生徒も見られ、個人差が大きいなどの報告が専門委員よりあった。

本地区の生徒の課題を解決する観点から研究した結果、系統的・段階的な指導ができ生徒が各時間で学ぶ内容が分かりやすく示されていて、教科書に書き込みやすい工夫が教育出版の教科用図書には多く見られた。

本採択地区協議会においては、上述のような専門委員会からの報告を受け、協議がなされ、教育出版の教科用図書が適切であると選定した。

なお、教育出版の教科用図書の特徴は次のような点である。

- (1) 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、各楽器についての基礎的な知識や奏法で演奏する曲をまとめた「演奏の仕方を身に付けよう」と、身に付けた奏法の活用をねらった「合わせて演奏しよう」が設けられるなどの構成・配列の工夫が見られる。また、我が国の伝統音楽については、口唱歌（唱歌）を取り入れたり、「唱歌について」というページを設けたりするなど、実感を伴った学びになるような工夫が見られる。
- (2) 主体的・対話的で深い学びの実現を図るために、教材ごとに「学びのねらい」をスタート、「まとめの曲」をゴールと設定し、見開きで学習を見通せる構成になっており、主体的に学び合う活動が展開できるように工夫されている。また、身に付ける技能の模範となる演奏を視聴できる「まなびリンク」や「何が同じで、何が違う？」のページが設けられ、知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力等の育成を図るための工夫が見られる。

本地区生徒の課題である、音楽に対する正しい知識や技能を身に付けさせるための手立てとして、前半部分には比較的取り組みやすい曲、後半部分には重奏や生徒の興味を引く曲などが多く掲載されている。また、1曲ごとの曲目の下に演奏の目標が示され、工夫しながら演奏できるようになっている。
- (3) 学習効果や使用上の利便性を高めるために、「各部の名称」「姿勢とかまえ方」等のコーナーがあり、基本的な知識や奏法について、鮮やかでダイナミックな写真を多く使うなど、主体的に知識・技能を身に付けることができるように工夫されている。

選定理由【美術科】

美術科においては、開隆堂出版、光村図書出版、日本文教出版の3者について検討を加えた。

各者とも、学習指導要領「中学校美術」の目標である「表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す」ことや、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて編集がなされている。

本地区の生徒の実態は、よさとして、素直で、絵を描くことやものを作ることに興味があり、自己表現のための技能を高めたいという意欲をもっている。具体的な作品資料を参考に、アイデアを考え、スモールステップで技能を身に付けることができ、中学校3年間での成長が大きく見られる。作品のできた背景や技法などにも興味をもち、友人の作品を鑑賞する機会は、互いに認め合える場となるなど、楽しんで鑑賞できる生徒が多い。

一方、課題として、技術の組み合わせや応用など、発展的な内容につなげたり、独創的な発想をしたりする生徒が少なく、発想力や表現力について、個人差が大きい。また、年々、カッターやはさみ、まっすぐに線を引くといったような基本的技能をうまく使いこなせない生徒が多くなっている。美術等に関する部活動もなく、授業での取組だけのため、応募作品の完成度を高める取組につなげるのが難しいなどの報告が専門委員よりあった。

本地区の生徒の課題を解決する観点から研究した結果、カッターやはさみなど基本的技能をうまく使いこなせない生徒が使えるようになる工夫や、発想力や表現力を高めるため、生徒に興味・関心をもたせる日本や外国の作品を載せたり、学年ごとの教科書を取り入れたりする工夫が、日本文教出版の教科用図書には多く見られた。

本採択地区協議会においては、上述のような専門委員会からの報告を受け、協議がなされ、日本文教出版の教科用図書が適切であると選定した。

なお、日本文教出版の教科用図書の特徴は次のような点である。

- (1) 美術科の目標を達成するために、3年間の学びを見通すことのできる「成長地図」の学習からスタートし、自分と向き合いながら将来の生き方を意識できるような題材を配列するなどの工夫が見られる。
- (2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、題材の冒頭に活動や目的を示し、造形的な特徴に着目することができるような工夫が見られる。また、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、美術1の巻末資料に「発想や構想の手立て」を示し、全題材において、イメージを豊かにしながら学習に取り組むことができるように工夫している。さらに、独創的な発想を養うために、生徒一人一人の表現の幅が広がるような授業の導入で使える問いかけ型の「主文」が示されており、生徒の「やってみたい」を引き出し、自ら主題を生み出すような工夫が見られる。
- (3) 学習効果や使用上の利便性を高めるために、各題材に「造形的な視点」として対話が生まれるような問いを設け、学習に取り組みやすくする工夫が見られる。また、題材の随所にQRコードを掲載し、見たい角度や距離感から立体作品を鑑賞できるようにするなど、学習効果を高めるような工夫が見られる。

選定理由【保健体育科】

保健体育科においては、東京書籍、大日本図書、大修館書店、学研教育みらいの4者について検討を加えた。

各者とも、学習指導要領「中学校保健体育」の目標である「体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することを目指す」ことや、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて編集がなされている。

本地区の生徒の実態は、よさとして、基礎的・基本的な知識や技能の習得に意欲的で、与えられた課題に対し、協力して学習に取り組むことができる。

一方、課題として、自らの課題を見つけ、主体的に課題の解決に取り組む力や習得した知識や技能を学習に活用する力を育成する必要があるなどの報告が専門委員よりあった。

本地区の生徒の課題を解決する観点から研究した結果、1単位時間ごとに学習の進め方や課題が明示され、生徒が見通しをもって学習ができ、さらに、習得した知識や技能を活用する学習が位置付けてあるなどの内容や構成の工夫や、デジタル教材の工夫が、東京書籍の教科用図書には多く見られた。

本採択地区協議会においては、上述のような専門委員会からの報告を受け、協議がなされ、東京書籍の教科用図書が適切であると選定した。

なお、東京書籍の教科用図書の特徴は次のような点である。

- (1) 保健体育科の目標を達成するために、学年ごとに「保健編」と「体育編」の章で構成されており、1単位時間ごとに学習の進め方や課題が明示され、「見つける」「学習課題」「課題の解決」「活用する」「広げる」という内容で、生徒が見通しをもって学習することができるような配列の工夫がなされている。
- (2) 主体的・対話的で深い学びを展開するために、1単位時間の冒頭にある「見つける」では、日常経験や既習事項を基に考えたり、話し合ったりするなど、学習課題を自分のものとし、課題の解決に取り組むことができる工夫が見られる。
また、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、「活用する」「広げる」では、習得した知識や技能を活用し、学習したことを自他に当てはめて再考するなど、活用する力の基礎づくりとなるような工夫が見られる。
- (3) 学習効果や利便性を高めるために、1単位時間の内容を見開き2ページに収め、統一された学習の流れのレイアウトとしている。特筆すべき点として、「キーワード」を1単位時間ごと及び巻末に掲載するとともに、技能のページを開設することで知識・技能の習得を促す工夫がされている。

選定理由【技術・家庭科（技術分野）】

技術・家庭科の技術分野においては、東京書籍、教育図書、開隆堂出版の3者について検討を加えた。

各者とも、学習指導要領「中学校技術」の目標である「技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成することを目指す」ことや、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて編集がなされている。

本地区の生徒の実態は、よさとして、ものづくりやプログラミングに対する興味・関心が高く、製作や目的に応じたプログラム作りに積極的に取り組む。また、畜産や農業が盛んであるため、生物育成に関する興味・関心も高い。

一方、課題として、木材などの加工経験が少ないため技能が低かったり、製作場面で使用目的に合わせて創意工夫しようとする態度にやや欠けたりするところがある。また情報に関する授業で学んだ情報モラルに関する知識が、実生活に生かされていない場面が見られるなどの報告が専門委員よりあった。

本地区の生徒の課題を解決する観点から研究した結果、プログラミング教育についての学習の流れが充実していたり、インターネットのトラブルを通して情報モラルについて学習を深めたりする工夫が、開隆堂出版の教科用図書には多く見られた。

本採択地区協議会においては、上述のような専門委員会からの報告を受け、協議がなされ、開隆堂出版の教科用図書が適切であると選定した。

なお、開隆堂出版の教科用図書の特徴は次のような点である。

- (1) 技術科の目標を達成するために、内容ごとに、生活や社会の中にある技術に気付かせながら知識・技能を習得させる工夫がなされている。また、それらを生かしながら「課題設定→設計・製作等→評価」という系統立てた一連の流れで問題解決を図り、振り返りながら定着させるなど、構成・配列の工夫が見られる。
- (2) 主体的・対話的で深い学びを展開するために、積極的に取り組める「導入課題」や、他者と関わりをもてる「実験」等を設定し、「知識・技能」習得のために、身近なものと結びつけた技術の解説により、原理等の理解につなげ、それらを生かした技能について説明している。また、「思考力・判断力・表現力等」育成のために、学習を見通せるような問題解決の流れや既習内容を生かせるように関連項目を示すなどの工夫が見られる。
- (3) 学習効果や使用上の利便性及び生徒の興味・関心を高めるために、理解しやすいよう実際に作業をしているような大きな写真や図版を用いたり、他の学習とのつながりを重視し、適切な場面で関連付けるために、「他教科」・「小学校」などのマークを用いたりするなどの工夫が見られる。

選定理由【技術・家庭科（家庭分野）】

技術・家庭科の家庭分野においては、東京書籍、教育図書、開隆堂出版の3者について検討を加えた。

各者とも、学習指導要領「中学校家庭」の目標である「生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することを目指す」ことや、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて編集がなされている。

本地区の生徒の実態は、よさとして、家庭科への興味・関心が高く、自分の考えを話したり、友だちの意見にもよく耳を傾けたりできる。また、裁縫や調理などの実習に、意欲的かつ積極的に取り組む生徒が多い。

一方、課題として、小学校での学習を含む既習内容の定着が十分ではなく、習得していても実生活に活用する力が身に付いていない。また、日常生活で幼児とふれ合う機会が少ないため、保育実習では見通しをもって活動することが難しいなどの報告が専門委員よりあった。

本地区の生徒の課題を解決する観点から研究した結果、まとまりごとに振り返りや生活に活かす設定がされていて、記述式で書き込ませて知識の定着にもつながる工夫や、動画教材の工夫が、開隆堂出版の教科用図書には多く見られた。

本採択地区協議会においては、上述のような専門委員会からの報告を受け、協議がなされ、開隆堂出版の教科用図書が適切であると選定した。

なお、開隆堂出版の教科用図書の特徴は次のような点である。

- (1) 家庭分野の目標を達成するために、章の始めに「わたしの興味・関心」というページを設け、生活の中から問題を見出せるよう工夫するとともに、各章を「本文」「ふり返り」「生活にいかそう」「学習のまとめ」で構成するなど、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する力を育むことのできる構成・配列の工夫が見られる。
- (2) 主体的・対話的で深い学びを展開するために、様々な場面において、写真や資料を基に、話し合いが展開できるような「話し合ってみよう」を設け、実践的・体験的な活動を通して学習することができるような工夫が見られる。
また、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、単元を通して考えることができるように小単元の初めの発問コーナーや「生活の課題と実践の進め方」「まとめ方」のページがあるなどの工夫が見られる。
さらに、実生活に活用する力を身に付けさせるために、習得した知識や技能などを生活課題として多種多様な課題を豊富に設定し、実践的な活動が家庭や地域で行えるような工夫が見られる。
- (3) 学習効果や使用上の利便性を高めるために、各章の扉となる「わたしの興味・関心」では、見開きを使って実物大写真を掲載し、視覚からも学習の動機付けが図られるほか、QRコード等を視聴して学習を進められるよう工夫されている。
また、生徒にとっての分かりやすさについては「環境」「防災」「豆知識」「他分野・他教科」等のマークを設定し、今日的課題について意識して学習できるような工夫が見られる。

選定理由【外国語科】

外国語科においては、東京書籍、開隆堂出版、三省堂、教育出版、光村図書出版、新興出版社啓林館の6者について検討を加えた。

各者とも、学習指導要領「中学校外国語」の目標である「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す」ことや、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて編集がなされている。

本地区の生徒の実態は、よさとして、基礎的・基本的事項の定着が図られ、自分の思いや考えを表現しようとする意欲や態度が育成されてきている。また、英語学習で学んだ成果を実生活で活かそうとする生徒が増えてきている。

一方、課題として、生徒自身が主体的に学習しようとする姿勢をさらに育成したり、英語で書いたり話したりする能力をさらに伸ばしていく必要がある。そして、グローバルな視野をもった人材の育成が求められるなどの報告が専門委員よりあった。

本地区の生徒の課題を解決する観点から研究した結果、身近な場面から社会的な場面まで、即興性と正確性の両立を目指しながら話したり書いたりできる工夫や、その話題として宮崎県の題材を取り入れ英語で発信したりできる工夫が、開隆堂出版の教科用図書には多く見られた。

本採択地区協議会においては、上述のような専門委員会からの報告を受け、協議がなされ、開隆堂出版の教科用図書が適切であると選定した。

なお、開隆堂出版の教科用図書の特徴は次のような点である。

- (1) 単元の構成に関しては、外国語科の目標を達成するために、各 Program を「とびら」「Scenes」「Think」「Retell」「Interact」で構成し、知識・技能の習得を図る工夫が見られる。「Scenes」では、場面絵を用いて新出表現をまとめて導入し、「Try」「Interact」「Our Project」では、即興で話す活動を通して表現力を高める工夫が見られる。単元の配列に関しては、「地球市民」として豊かな心を育むための「SDGs」に関連した題材や、フィンランド訪問、海外の屋台料理など、異文化理解に関する題材などを用いる工夫が見られる。
- (2) 単元後の「Our project」では、即興性と正確性の両立を目指しながら身近な場面から社会的な場面の中で話したり書いたりするなど、グローバルな社会や未知の状況にも対応できる英語での思考・判断・表現力や発信力を育成する工夫がなされている。
- (3) 自己表現に役立つ単語表現をまとめた「Word Web」や「Word Box」「Expression Box」、発音とつづりの関係を体系的に学ぶ「発音クリニック」など、学習効果や使用上の利便性を高める工夫がなされている。また、表現するための技能を身に付ける「Steps」やレッスン内の主な言語材料をまとめて確認できる「英語のしくみ」、本文の音声を読み込める「QRコード」を掲載し、生徒にとって分かりやすくなるような工夫がなされている。

選定理由【特別の教科 道徳】

特別の教科 道徳においては、東京書籍、教育出版、光村図書出版、日本文教出版、学研教育みらい、廣済堂あかつきの6者について検討を加えた。

各者とも、学習指導要領「中学校特別の教科 道徳」の目標である「道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる」ことや、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて編集がなされている。

本地区の生徒の実態は、よさとして、純朴で素直な生徒が多く、真面目に授業に取り組む、生徒会活動や学級の係活動においても、責任をもって取り組もうとする姿勢がある。また、学校のきまりを守ることやいじめについての考え方において、良好な結果が出ている。

一方、課題として、何事にも目的をもって取り組んだり、主体性をもって関わったりすることについては不十分である。また、携帯電話等の所持率が高まり、規範意識や道徳心をさらに育てていく必要があるなどの報告が専門委員よりあった。

本地区の生徒の課題を解決する観点から研究した結果、別冊の道徳ノートを通して、生徒の思考や思いをまとめて管理し、1年間の記録として振り返ったり評価に役立てたりすることができる工夫や、地域題材が扱われている工夫が、日本文教出版の教科用図書には多く見られた。

本採択地区協議会においては、上述のような専門委員会からの報告を受け、協議がなされ、日本文教出版の教科用図書が適切であると選定した。

なお、日本文教出版の教科用図書の特徴は次のような点である。

- (1) 道徳科の目標を達成するために、重要なテーマとして『いじめ』と向き合う「よりよい社会と私たち」を配置し、複数の教材やコラムをユニット化するなど、1年間の学習の流れを重視しながら、より深い学びが得られるような構成・配列の工夫が見られる。
- (2) いじめ問題については、時期に合わせて、生徒にとって身近な問題を扱った教材やいじめへの理解を深めるコラムなどを複数配置することで、主体的に自分との関わりで考えることができる工夫が見られる。多面的・多角的に考えることができる学習活動を展開させるために、生徒にとっての身近な問題や、社会で活躍する人々について、「社会への参画」と「将来の生き方」の視点から教材をユニット化するなどの工夫が見られる。地域の実態から、別冊の道徳ノートに「自分にプラスワン」のコーナーを設け、自分の考えを書くことによって、自主・自律について深められるような工夫が見られる。
- (3) 利便性や生徒にとっての分かりやすさについては、巻頭に「道徳科で学ぶこと」や「道徳科での学び方」を設けることで、生徒が「考え、議論する道徳」の基礎・基本を理解し、主体的に学習に取り組むことができるなどの工夫が見られる。また、別冊の「道徳ノート」では、生徒の学習状況や考え方の変化などを毎時間記録することができ、自分と友達の意見を書く欄を設けることで、比較しながら考えることができるなどの工夫が見られる。